

いちご大福・弁当・ジンジャーエール…
新しい特産品を開発！



■「特産品から桂川町を有名に！」と意気込む子どもたち。様々な特産品のアイデアを提案してくれました。

○いちごジャム ○いちごジュース ○いちごを使ったサンドイッチ ○しようがを使ったジンジャーエール

■まんじゅうの表面に王塚古墳壁画に描かれている馬を入れ、中に桂川町で採れたいちごを入れた「いちご大福」を提案してくれたグループのほか、次のような特産品のアイデアを提案してくれました。



桂川駅で
駅弁やお菓子を販売！



■JR桂川駅を活かしたアイデアも多く発表されました。

■まずは、駅弁の開発。王塚古墳の形の容器に、特産品である「しようがのつくだ煮」などを使ったお弁当を、桂川駅で販売することを提案してくれました。

■また、昨年度、「菓子工房メルシー」(豆田)が開発した特産品「王塚古墳マドレーヌ」古来の「鍵」を、桂川駅で販売してはどうかというアイデアも。

■「活気と笑顔あふれる桂川町にするために、まずは桂川町に来てもらうことが大切だと考えました」と話す子どもたち。桂川駅周辺開発への関心の高さがうかがえました。



桂川小学校6年生がまちづくりのアイデアを発表

子どもたちが考える桂川町の未来

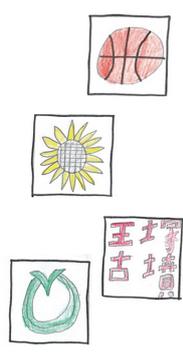


観光で町の魅力をアピール！



■桂川駅や王塚古墳、桂川とれたた村などの桂川町の観光スポットにスタンプを置き、その場所の良い所を紹介するスタンプラリーを提案してくれました。また、「桂川町のキャラクターを作る！」という案も。

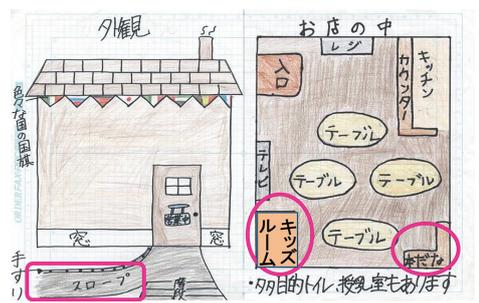
■観光バス・ツアーバスを提案してくれたグループでは、町内の観光スポットや飲食店をめぐる、桂川町の魅力を知ってもらう方法を提案してくれました。



桂川町のおいしい野菜と果物を提供する
地産地消レストラン



■「おいしいばい！地産地消のレストラン」と題した施設を桂川駅近くに作る、という提案をしたグループ。桂川町の野菜や果物を食べることで、施設はバリアフリーで、子ども連れでも安心なキッズルームを設置。また、レンタル自転車の貸し出しも行い、町内を回るができるようにしたいそうです。



▲子どもたちが考えた配置図。このほか町民が集う憩いの場「桂川道の駅」の計画を発表してくれたグループも。